

オイルクーラーキット

取付説明書



取付けは必ず専門業者に依頼してください。

取扱説明書を先に読んでから作業を行なってください。

本書は取付け作業前・ご使用前に必ずお読みください。

お読みになった後は、大切に保管してください。

本製品は、下記に示す車両のみ取付け可能です。

万が一お車と本製品の型式等が異なる場合には、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください。

商 品 名	車種別オイルクーラーキット
用 途	自動車専用部品
コ ー ド No.	15004-AN019
取付説明書品番	E04261-N37182-00 Ver. 3-3. 03
整 備 要 領 書	A008022
メ ー カ ー 車 種	ニッサン シルビア S15
エ ン ジ ン 型 式	SR20DET
年 式	1999/1～2002/8
備 考	・純正オイルフィルターは再使用できません。 ・純正ウォシャタンクは使用できません。 ・オイルフィルター交換時には、HKS オイルフィルター タイプ7を使用してください。 ・対応バンパー：純正バンパー、エアロフォルムバンパー ・AT 車未確認 ・SUPER HICAS 車取付不可(キット内部品が車輻に干渉するため) ・アダプタサーモ Assy に温度センサ用に M12 P=1. 25、油圧センサ用に PT1/8 のサービスホールがあります。 ・新品のエンジンオイル約 4. 5L が必要です。 ・変換アダプタ M12-PT1/8 (2 面幅 17mm) (温度センサ取付けフィッティングが PT1/8 の場合)

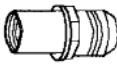
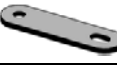
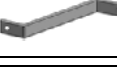
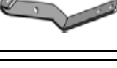
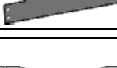
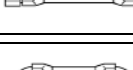
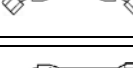
※適合車両の年式は、2020 年 7 月現在のものです。

改訂の記録

改訂No.	日 付	記 載 変 更 内 容
3-3. 01	2004/11	初版
3-3. 02	2008/09	パーツリスト変更、記載方法変更
3-3. 03	2020/07	パーツリスト変更

2020 年 7 月 30 日発行 (禁無断複写、転載) (株)エッチ・ケー・エス

パーツリスト

連番	コード№	品 名	数量	形 状	備 考
1	15006-AK004	オイルクーラコア	1		15段
2	2599-SA013	アダプタサーモAssy	1		
3	2599-SA012	取出しアタッチメントAssy	1		
4	15600-0191320A	アタッチメントボルトB	1		M20 P=1.5
5	15999-AK003	Oリング JASO 1026	1		内径φ26.2
6	15999-AK001	Oリング JASO 3056	1		内径φ55.6
7	G15721-N37070-00	オイルクーラスター№1	1		
8	G15721-N37080-00	オイルクーラスター№2	1		
9	G15721-N37090-00	オイルクーラスター№3	1		
10	15721-1392870A	アダプタサーモステー	1		
11	G15731-N37210-00	エアガイド№1	1		
12	G15731-N37220-00	エアガイド№2	1		
13	G15731-N37230-00	エアガイド№3	1		
14	G15731-N37240-00	エアガイド№4	1		
15	G15750-K00150-00	オイルクーラホース№1	2		0° -25cm-0°
16	G15750-K00670-00	オイルクーラホース№2	1		45° -30cm-45°
17	G15750-K00160-00	オイルクーラホース№3	1		45° -50cm-120°
18	15719-077100	スパイラルチューブ	1		L=1500
19	52009-AK011	オイルフィルタ	1		
20		ボルトM6 L=20	10		P=1.0
21		ボルトM8 L=15	3		P=1.25
22		六角穴付ボタンボルトM4	9		P=10

パーツリスト

連番	コード№	品 名	数量	形 状	備 考
23		プレーンワッシャM6用	10		
24		プレーンワッシャM8用	3		
25		プレーンワッシャM4用	18		
26		スプリングワッシャM6用	10		
27		スプリングワッシャM8用	3		
28		フランジ付ナットM6	9		P=1.0
29		フランジ付ナットM8	1		P=1.25
30		ナットM4	9		
31	15719-030261	隙間テープ	4		
32		タイラップ(中)	10		
33		タイラップ(大)	10		
34	15428-009100	オスメスエルボ1/8PT	1		油圧計取付け用
35	90113-017100	サポートクランプ#12	1		
36	93050-002100TP	取扱説明書	1		
37	E04261-N37182-00	取付説明書	1		

交換部品

交換部品	品 番	備 考
ウォッシャタンク	27480-H1001	日産車純正パーツ(カンガル-タイプ)

1. ノーマルパーツ取外し

作業を始める前に、エンジンオイル、冷却水を準備しバッテリーのマイナス端子を取外してください。
必ず整備要領書及び取扱説明書に準じて作業を行なってください。

- (1) アンダカバーを取外してください。
- (2) 運転席側フェンダプロテクタを取外してください。
- (3) フロントバンパを取外してください。
- (4) オルタネータサポートのボルト2本を取外してください。
(図1-1)

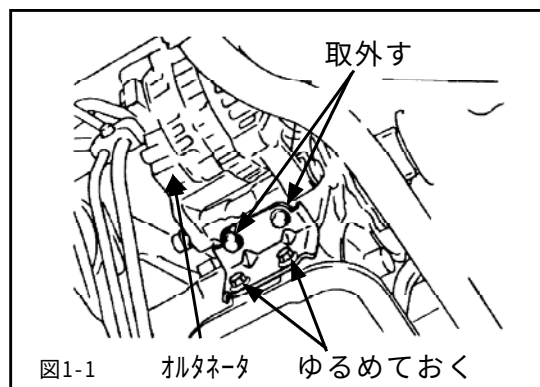
アドバイス

- ・ボルトが破損しないように、残りのボルト2本もゆるめておいてください。

- (5) ウォッシャタンクからウォッシャ液を抜き、ゴムホース及びカプラを取外してください。
- (6) ウォッシャタンクをブラケットごと取外してください。
- (7) エンジンオイルを抜いてください。
- (8) オイルフィルタを取外してください。

アドバイス

- ・取外したときオイルがこぼれますので、ウエス・受け皿等を用意してください。

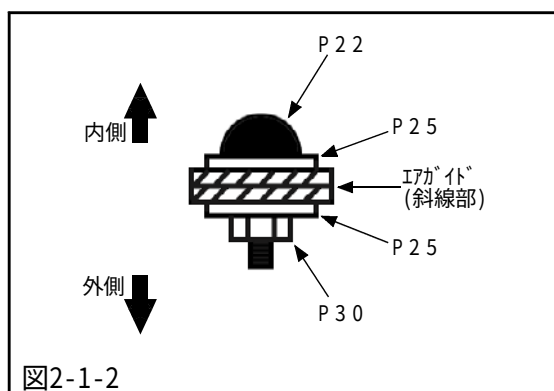
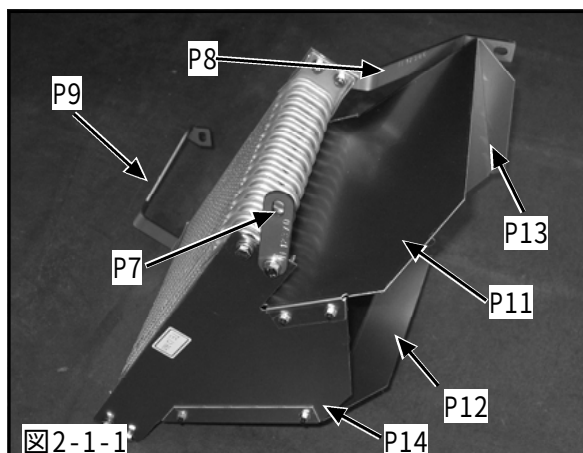


※キット内パーツ（オイルクーラコア、アタッチメントボルトB、オイルクーラホース、アダプタサーモAssy、取出しアタッチメントAssy）のシール面、ネジ部、テーパ部にキズや異物の混入がないことを確認してください。

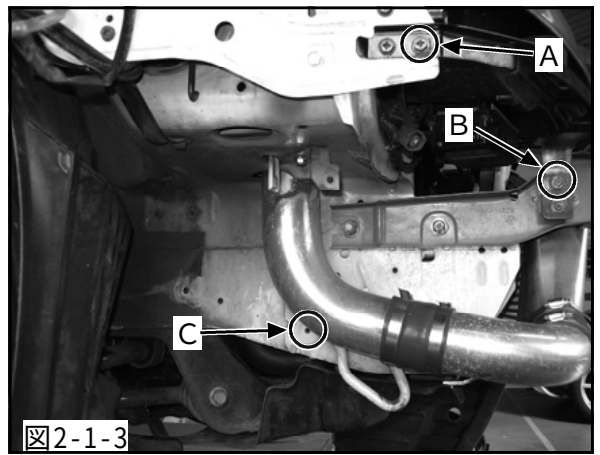
← はオイルの流れを示しています。 ホﾞィC部に取付け
 // はホースにスパイラルチューブ(P18)を巻くことを示しています。
 図 2 - 1 〰 はタイラップ(中) (P32)でスパイラルチューブを固定することを示しています。

- ・エアガイド№1 (P11×1)
- ・エアガイド№2 (P12×1)
- ・エアガイド№3 (P13×1)
- ・エアガイド№4 (P14×1)
- ・六角穴付きボルトM4 (P22×9)
- ・プレーンワッシャM4用 (P25×18)
- ・ナットM4 (P30×9)

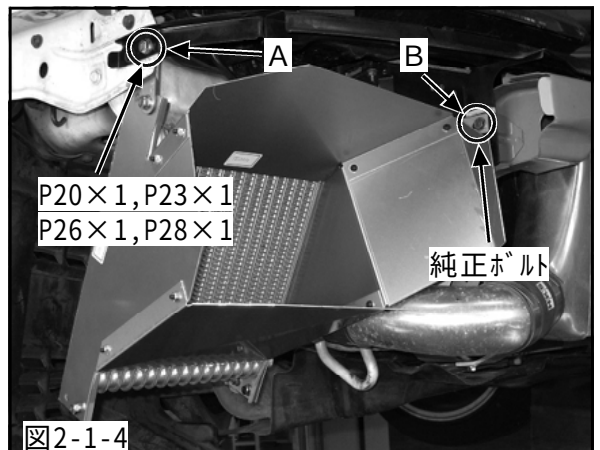
- ・オイルクーラコア (P1×1)
- ・オイルクーラストレーN#1 (P7×1)
- ・オイルクーラストレーN#2 (P8×1)
- ・オイルクーラストレーN#3 (P9×1)
- ・ボルトM6 L=20 (P20×8)
- ・プレーンワッシャM6用 (P23×8)
- ・スプリングワッシャM6用 (P26×8)
- ・フランジ付きナットM6 (P28×8)



- (3) オイルクーラコアを運転席側フェンダ内に仮付けしてください。この時、オイルクーラステー№1, №2, №3のボディへの取付け位置は図のA, B, C部になります。(図2-1-3)

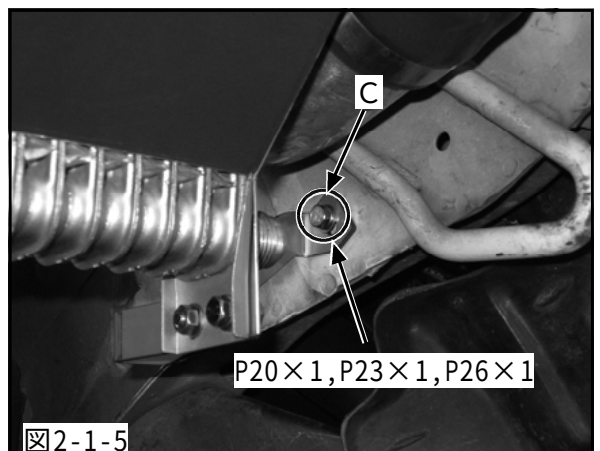


- (4) オイルクーラステー№1をA部に仮付けしてください。
(図2-1, 図2-1-3, 図2-1-4)
- ・ボルトM6 L=20 (P20×1)
 - ・プレーンワッシャM6用 (P23×1)
 - ・スプリングワッシャM6用 (P26×1)
 - ・フランジ付きナットM6 (P28×1)



- (5) オイルクーラステー№2をB部に仮付けしてください。
(図2-1, 図2-1-3, 図2-1-4)
- ・ボルト (純正)

- (6) オイルクーラステー№3をC部に仮付けしてください。
(図2-1, 図2-1-3, 図2-1-5)
- ・ボルトM6 L=20 (P20×1)
 - ・プレーンワッシャM6用 (P23×1)
 - ・スプリングワッシャM6用 (P26×1)



- (7) バンパとエアガイドが干渉しない様にエアガイド及びオイルクーラコアの取付位置を調整し、本締めしてください。
また、インタークーラ装着車両はインタークーラパイプとも干渉しないように位置を調整してください。



注 意

- オイルクーラコアを車両に取付ける際、無理な力が加わらないように取付けてください。
振動等により、オイルクーラコアが破損する恐れがあります。

- (8) エアガイドの走行風導入口の外側に隙間テープを貼付け、バンパとエアガイドの干渉を防いでください。
・隙間テープ (P31×3)
- (9) インタークーラパイプとエアガイドが干渉する場合は、干渉を防いでください。
・隙間テープ (P31×1)

2-2. 取出しアタッチメントAssyの取付け

- (1) Oリング JASO 1026, JASO 3056にエンジンオイルを薄く塗布してください。(図2-2-1)
 - ・ Oリング JASO 1026 (P5×1)
 - ・ Oリング JASO 3056 (P6×1)
- (2) 取出しアタッチメントAssyの内側の溝にOリング JASO 3056をアタッチメントボルトBにOリング JASO 1026を組付けてください。(図2-2-1)
 - ・ 取出しアタッチメントAssy (P3×1)
 - ・ アタッチメントボルトB (P4×1)
- (3) アタッチメントボルトBを使用して、取出しアタッチメントAssyをエンジンのオイルフィルタ取付面に取付けてください。
この際、図中A部がエンジン前方になるように取付けてください。(図2-2-1)

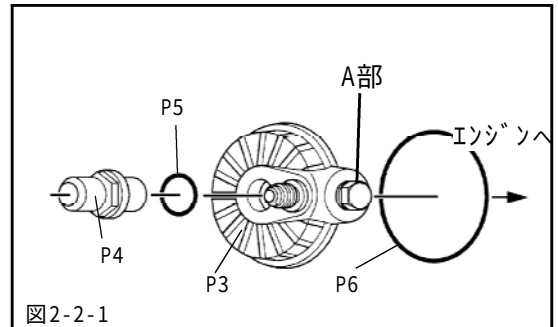


図2-2-1

締付けトルク N・m(kgf・m)
T=14.7~17.6(1.5~1.8)

⚠ 注 意

- アタッチメントボルトBを締付ける際、トルクレンチを使用してください。締付け不良によるオイルもれ、締付け過ぎによるエンジンブロックの破損等を引き起こす恐れがあります。

2-3. アダプタサーモAssyの取付け

- (1) アダプタサーモAssyをアダプタサーモステーに仮付けしてください。(図2-3-1, 図2-3-2)
 - ・ アダプタサーモAssy (P2×1)
 - ・ アダプタサーモステー (P10×1)
 - ・ ボルトM8 L=15 (P21×2)
 - ・ プレーンワッシャM8用 (P24×2)
 - ・ スプリングワッシャM8用 (P27×2)
- (2) アダプタサーモステーをオルタネータサポートに共締めしてください。(図2-3-1, 図2-3-2)
 - ・ ボルト (純正)

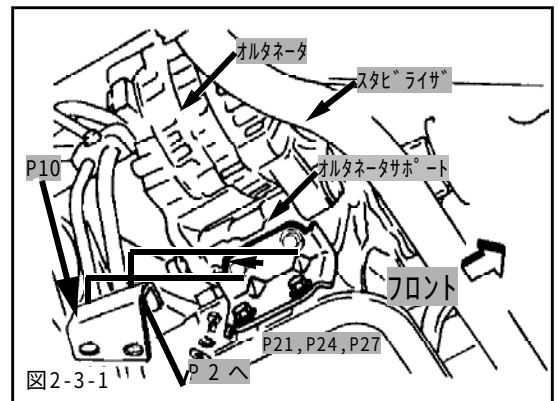


図2-3-1

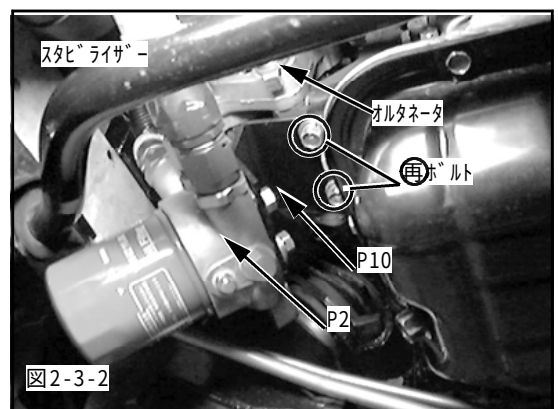


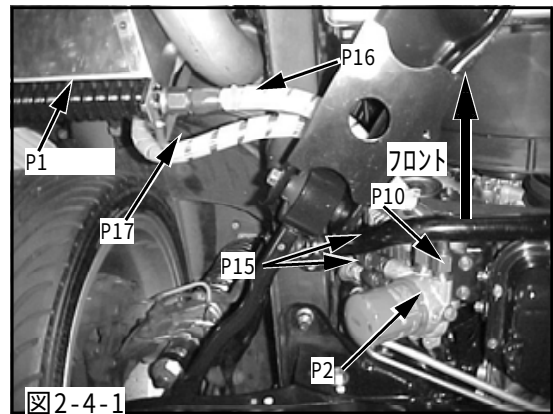
図2-3-2

2-4. オイルクーラホースの取付け

- (1) スパイラルチューブを以下の長さに切断してください。
・スパイラルチューブ (P18×1)

25cm×2・・・P18①
30cm×1・・・P18②
50cm×1・・・P18③

- (2) 2-4. (1) で25cmに切断したスパイラルチューブ (P18①) をオイルクーラホース№1に、30cmに切断したスパイラルチューブ (P18②) をオイルクーラホース№2に、50cmに切断したスパイラルチューブ (P18③) をオイルクーラホース№3にそれぞれ巻付け、タイラップ(中) で両端を固定してください。(図2-1, 図2-4-1)
・オイルクーラホース№1 (P15×2)
・オイルクーラホース№2 (P16×1)
・オイルクーラホース№3 (P17×1)
・タイラップ(中) (P32)



- (3) オイルクーラホース№1をアダプタサーモAssy、取出しアタッチメントAssyにそれぞれ仮付けしてください。(図2-1, 図2-4-1)
(4) オイルクーラホース№2、オイルクーラホース№3をオイルクーラコア, アダプタサーモAssyに仮付けしてください。(図2-1, 図2-4-1)

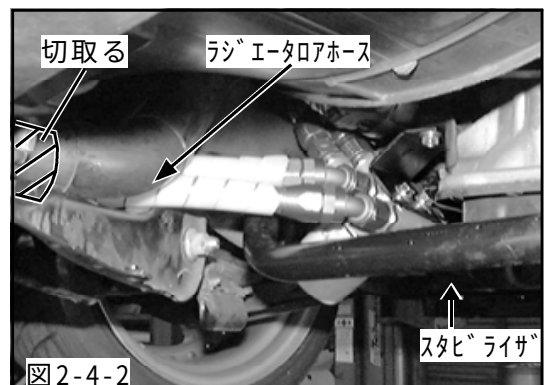
⚠ 注 意

- オイルクーラホースのフィッティングにシールテープを使用しないでください。
テープがエンジン内部に混入し、エンジンを破損させる恐れがあります。

- (5) オイルクーラホース№2, №3とラジエータロアホースとの干渉及び走行時にオイルフィルタとスタビライザとの干渉がないようにアダプタサーモAssyの位置を調整して固定してください。(図2-4-1, 図2-4-2)

アドバイス

- ・ラジエータロアホースと干渉する場合は図のようにラジエータロアホースを約20mm切取り、干渉しない位置で固定してください。(図2-4-2)



- (6) 仮付けしていたホースを各部に干渉しないように調整して固定してください。

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=14.7~17.6(1.5~1.8)

⚠ 注 意

- ラジエータロアホースとオイルクーラホースとの干渉がないように取付けてください。
干渉したまま使用すると、ラジエータロアホースが破損する恐れがあります。

- (7) オイルクーラステー№3の穴にサポートクランプ#12を取付け、オイルクーラホース№3の位置を固定してください。
・ボルトM8 L=15 (P21×1)
・プレーンワッシャM8用 (P24×1)
・スプリングワッシャM8用 (P27×1)
・フランジ付ナットM8 (P29×1)
・サポートクランプ#12 (P35×1)

⚠ 注 意

- ホース接続方向に間違いがないか確認してください。(図2-1)
IN/OUTの配管ミスは、エレメントの破損・エンジンの焼付き等の事故になります。
● オイルクーラホースのフィッティングにシールテープを使用しないでください。
テープがエンジン内部に混入し、エンジンが破損する恐れがあります。

2-5. オイルフィルタの取付け

- (1) オイルフィルタをアダプタサーモAssyに取付けてください。
・オイルフィルタ (P19×1)

アドバイス

- ・オイルフィルタがアンダカバーに干渉する際は、アダプタサーモAssyの取付け位置を再度調整してください。

締付けトルク N・m(kgf・m)
T=14.7~17.6(1.5~1.8)



警告

- 油温・油圧センサライン取付けの際、エンジンルームの部品と干渉しないようにしてください。この時、メンバより下に出ないように取付けてください。
- 油温・油圧センサライン及びハーネスは車両側に固定しないでください。エンジンの振動によって引張られ、破損する恐れがあります。

アドバイス

- ・オスメスエルボPT1/8は、センサの取り回し方やクリアランス確保の為、必要に応じて使用してください。
- ・オスメスエルボPT1/8 (P34×1)

3. ノーマルパーツ加工

3-1. フォグランプ未装着車両

- (1) 運転席側バンパグリルの図の斜線部分を削り取ってください。この時、ネジ穴の部分は残してください。
(図3-1-1)

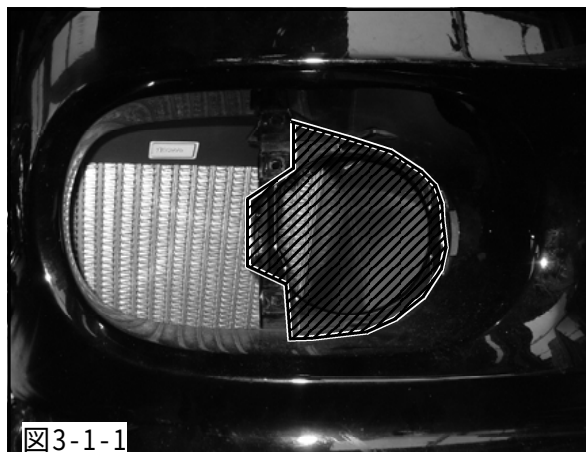


図3-1-1

3-2. エアロフォルムバンパ装着車両

- (1) 運転席側バンパのダクトの図の斜線部分を削り取ってエアガイドと干渉しないようにしてください。
(図3-1-2)



図3-2-1

4. ノーマルパーツ取付け

(1) エンジンオイルを適量入れてください。

アドバイス

・ H K S 製エンジンオイルのご使用をお薦めいたします。

(2) バッテリーのマイナス端子を取付けてください。

(3) エンジンを始動し、以下の確認を行なってください。

- ・ エンジンを3分以上運転した後、(エンジンオイルが75℃以上) オイル漏れがないことを確認してください。
- ・ エンジン暖気後、高回転までエンジンを回し、オイルクーラホースがボディ、ハーネス、インタークーラパイプと干渉しないことを再度確認してください。

△ 注 意

● オイルクーラホースがボディなどに干渉しないように取付けてください。
干渉するとオイルクーラホースに無理な力がかかりフィッティングが折れる恐れがあります。

(4) フロントバンパを取付けてください。

(5) 運転席側インナフェンダを取付けてください。

(6) アンダカバーを取付けてください。

4-1. ウォッシャタンク(別売)の取付け

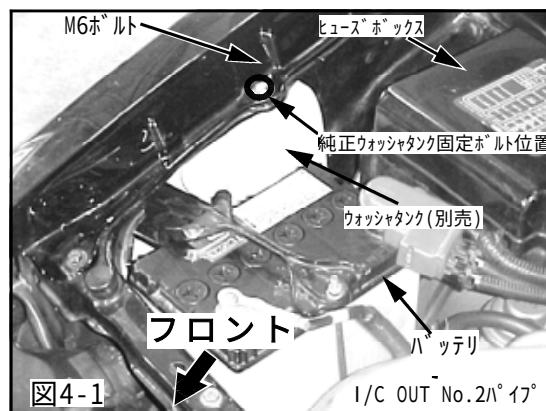
(1) バッテリーを取外しウォッシャタンク(別売)をボルト類やタイラップ(大)を使用して取付けてください。
(図4-1)

- ・ タイラップ(大) (P33)

(2) ウォッシャタンクに取付けられていたハーネスを導線ギボシ等を使用して延長しウォッシャタンクに配線してください。

(3) ウォッシャタンクにウォッシャ液を注入してください。

※リアワイパー取付車両は、トランク内までウォッシャ液の配管がなされているため、純正ウォッシャタンクをトランク内に移動し、配管を加工して取付けることもできます。



※取付け作業終了後、必ず取扱説明書の「取付け後の確認」に従って確認作業を行なってください。